

2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）
食育推進に関する取組事例

作 成 者：みどりの推進課 吉田
作成者連絡先：0561-56-0620

プラン 2025 の 連番・ 取組の内容	幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>	
取組主体 団 体 名	長久手市	
取組の名称	食育イベント（ラムネ作り体験・おやつに関する紙芝居など）	
取組内容	<p>●実施時期： 令和 4 年 6 月 2 6 日（日）</p> <p>●対象者： 市民</p> <p>●目的・内容（250 文字程度を目安にしてください） （目的） 幅広い世代への食育の推進・第 3 次長久手食育推進計画の PR （内容） 食育に関心がある、市内の幅広い年代の方々に対して、民間企業の協力を得てラムネ作り体験やおやつに関する紙芝居、市内産の野菜を販売したり健康飲料の試飲を行うマルシェ、食育推進支援会議委員作成のレシピの配布などを行った。</p>	
	<p>●活動の成果、今後の課題（150 文字程度を目安にしてください） 100 人を超える参加者がいたが、イベントの参加者を対象にすると、人数が限られてしまう。不特定多数の方への食育の推進や、食育を自分事として認識してもらうことが難しいので、今後の課題としたい。</p>	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし(単独)	ありの場合の連携先：民間企業、食育推進支援会議
●連携した背景、きっかけ 市と民間企業で包括連携協定を結んでいることから。		
デジタル化推進	した ・ <input type="checkbox"/> していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 今年度新規の取組 ・ <input type="checkbox"/> 昨年度以前から継続（いつから： から）	
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など 食育推進支援会議があるものの、イベント開催など食育について委員が直接関わる事業がなかったことから。		

(様式)

2022年度(2022年4月～2023年3月)
食育推進に関する取組事例

作成者：みどりの推進課 吉田
作成者連絡先：0561-56-0620

プラン2025の 連番・ 取組の内容	日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>	
取組主体 団体名	長久手市	
取組の名称	味噌づくり体験	
取組内容	●実施時期：令和5年1月28日(土)	
	●対象者：市民	
取組内容	●目的・内容(250文字程度を目安にしてください) (目的) 食育及び伝統食の継承・農楽校事業のPR (内容) 大豆を煮るところから、味噌を完成させるところまで体験する。	
	●活動の成果、今後の課題(150文字程度を目安にしてください) 市内在住の6家族を対象に行った。実際に味噌をつくる経験をしたことがある人は少ないので、日本の伝統食の作り方を知る機会となった。今後の課題としては、参加者以外に対して伝統食の継承をどうPRしていくか。	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	あり ・ なし(単独)	ありの場合の連携先：
●連携した背景、きっかけ		
デジタル化推進	した ・ していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		
新規・継続	今年度新規の取組 ・ 昨年度以前から継続	(いつから： H24 から)
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など		

(様式)

2022年度(2022年4月～2023年3月)
食育推進に関する取組事例

作成者：子ども部子ども未来課 指導保育士 高橋浩子
作成者連絡先：子ども未来課 0561-56-0615

プラン2025の 連番・ 取組の内容	2 給食・弁当を活用した食育や地域人材の活用促進 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>	
取組主体 団体名	長久手市	
取組の名称	上郷保育園栄養士による食育活動	
取組内容	●実施時期：令和5年2月1日	
	●対象者：上郷保育園年少クラス	
取組内容	●目的・内容(250文字程度を目安にしてください) 箸の持ち方を指導し、箸を使って給食を食べてみようという取り組み。	
	●活動の成果、今後の課題(150文字程度を目安にしてください) 一度知らせただけでは、身につかないため、2回試みた。また、その後もクラスを見て回り、箸の持ち方や扱い方について知らせていった。	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし(単独)	ありの場合の連携先：給食センター
●連携した背景、きっかけ 上郷保育園は自園給食となり、上郷保育園に管理栄養士を配置したため、給食センターの管理栄養士と連携し、園児に給食を通して食育指導をすることとなった。		
デジタル化推進	した ・ <input type="checkbox"/> していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 今年度新規の取組 ・ 昨年度以前から継続(いつから： から)	
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など 上郷保育園の管理栄養士として、園児に食育について指導ができるのではないかと提案した。		

(様式)

2022年度(2022年4月～2023年3月)
食育推進に関する取組事例

作成者：子ども部子ども未来課 指導保育士 高橋浩子
作成者連絡先：子ども未来課 0561-56-0615

プラン2025の 連番・ 取組の内容	47 保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>	
取組主体 団体名	長久手市	
取組の名称	長湫東保育園 園児のカレー作り	
取組内容	●実施時期： 令和5年2月8日	
	●対象者： 長湫東保育園	
取組内容	●目的・内容 (250文字程度を目安にしてください) 園児の食への興味や関心を持たせ、生産者への感謝の気持ちや、調理する楽しさ、食べる喜びを味わわせるため。 また、年長児が田植えや稲刈り、脱穀を経験して取れたお米を使ってご飯を炊いて食べることで、満足感や達成感を味わい、年下児は年上児に憧れの気持ちを持つ。	
	●活動の成果、今後の課題 (150文字程度を目安にしてください) 園児が調理に関わることで、食育に頼関心を持つことができる。コロナ禍で自粛していたこともあり、今の園児にとっては見通しが持てなかった。	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	あり ・ <input checked="" type="checkbox"/> なし(単独)	ありの場合の連携先：給食センター
●連携した背景、きっかけ		
デジタル化推進	した ・ <input checked="" type="checkbox"/> していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		
新規・継続	今年度新規の取組 前 から	・ <input checked="" type="checkbox"/> 昨年度以前から継続 (いつから：昭和62年より)
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など		

(様式)

2022 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)
食育推進に関する取組事例

作 成 者 : 平成こども塾 福本将
作成者連絡先 : 0561-64-0045

プラン 2025 の 連番・ 取組の内容	※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。	
取組主体 団体名	長久手市平成こども塾	
取組の名称	学校連携事業	
取組内容	●実施時期： 2022 年 6 月 8 日～2023 年 2 月 16 日 ●対象者： 長久手市立 6 小学校の児童 ●目的・内容 (250 文字程度を目安にしてください) 目的：長久手市の豊かな田園環境の中で、こどもたちが地域の自然、文化、環境等を学ぶことを通じて健全な心と身体を培うとともに、人と自然とがよりよく共生する地域社会の実現に資するためプログラムを実施する。 内容：「飯盒炊さんとカレーライス作り」「おこしもの作り」「走る木車作り、焼き芋」「餅つき・昔の遊び」五平餅作り」「カスタンネットとどんぐりやじろべえ作り、焼き芋」「松ぼっくりのクリスマスツリー作り、焼き芋」上記のプログラムで令和 4 年は合計 69 回のプログラム実施を計画している。	
	●活動の成果、今後の課題 (150 文字程度を目安にしてください) 飯盒でご飯を炊き、大鍋でカレーや餅つき、おこしものを作ることで昔の人がいかに工夫をして食べ物を用意していたかを学ぶことができた。 課題：① 市の人口増加に伴い小学生の人数が増え続けると 6 年間に 3 回実施しているプログラムが日数的に実施困難になる恐れがある。 ② 講師の高齢化に伴い継続した後継者の確保が必要となっている。	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	<input checked="" type="radio"/> あり ・ なし(単独)	ありの場合の連携先：平成こども塾へ問い合わせ 0561-64-0045 野外活動同好会：坪内 Heart の会：水野 食と健康を考える会：山田 愛知県創造レクリエーション研究会：瀬川
●連携した背景、きっかけ 学校連携事業の実施に伴い、事業の目的に合致する活動団体を募集し年間を通して講師を依頼した。		
デジタル化推進	した <input checked="" type="radio"/> していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		

(様式)

2022 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)
食育推進に関する取組事例

作 成 者 : 浅井志保

作成者連絡先 : 長久手市立長久手給食センター 0561-62-3910

プラン 2025 の 連番・ 取組の内容	6 食育だより等各種お便り、学校給食試食会、献立募集や料理教室、食物アレルギーに関する情報、就学時健診等での各種学校給食に関する情報提供等を通して小中学校から家庭に向けての食育促進 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>	
取 組 主 体 団 体 名	長久手市	
取 組 の 名 称	給食センター施設見学試食会	
取 組 内 容	●実施時期： 6 月, 10 月, 1 月	
	●対象者： 市内在住、在勤、在学者で食育などに関心を持っている個人又は 団体	
	●目的・内容 (250 文字程度を目安にしてください) 給食について、広く市民の皆さんに知っていただくため、施設見学と給食の試食会を行っています。 令和4年度は、6月17日、10月18日、1月25日に行いました。のべ34人のご参加があり、千人釜で作る調理作業を見学窓から見学したり、栄養教諭による献立作りや調理についての話を聞いたりしていただきました。 見学に加え、給食の試食も行いました。地元生産会の作った旬の野菜、季節の汁などを使った献立を提供しました。	
	●活動の成果、今後の課題 (150 文字程度を目安にしてください) 給食事業について理解を深め、食の大切さや正しい知識に興味関心を持っていただくことができました。 給食の試食が人気の事業ですが、試食が無くても魅力的な情報発信の工夫が必要だと考えます。	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	あり ・ なし(単独)	ありの場合の連携先 :
●連携した背景、きっかけ		
デジタル化推進	した ・ していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		
新規・継続	今年度新規の取組	・ 昨年度以前から継続(いつから : 平成 23 年から)
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など 平成 23 年度から継続して、当市給食事業への理解を深め、食への関心をもっていただくきっかけづくりとして、学期に 1 回、施設の見学と学校給食の試食の会を実施しています。 平成 30 年度からは市民要望に応え、気軽に参加できる小規模な施設見学会の開催を始めたところ、市内企業関係者や給食現場で働く方などの参加がありました。		

(様式)

2022 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)
食育推進に関する取組事例

作 成 者 : 浅井志保

作成者連絡先 : 長久手市立長久手給食センター 0561-62-3910

プラン 2025 の 連番・ 取組の内容	6 食育だより等各種お便り、学校給食試食会、献立募集や料理教室、食物アレルギーに関する情報、就学時健診等での各種学校給食に関する情報提供等を通して小中学校から家庭に向けての食育促進 39 学校給食による感謝の心や美味しいと感じる味覚の育成、会食の楽しさ等の実感 59 学校給食への導入促進や体験との関連づけ、「愛知を食べる学校給食の日」の年 3 回実施 ※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。
取 組 主 体 団 体 名	長久手市
取 組 の 名 称	給食だよりの発行
取 組 内 容	<p>●実施時期：6 月、11 月、1 月</p> <p>●対象者：市立小中学生の家庭</p> <p>●目的・内容 (250 文字程度を目安にしてください) 給食づくりの紹介や家庭での食育のきっかけづくりに役立てるため児童生徒及びその家庭に配布しています。 1 学期に一度、学校給食週間等の取組みに合わせ、給食だより「ながくての給食」を発行し、学校を通じ家庭に配布、市ホームページに掲載しました。令和 4 年度は、1 学期号は「愛知を食べる学校給食の日」を、2 学期号は「みんなで食べるとおいしいね！」を、3 学期号は「食物アレルギーについて知ろう」を特集しました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題 (150 文字程度を目安にしてください) 広い誌面に図や写真、グラフを掲載できるので、児童生徒や保護者の目にとまりやすいようです。 朝食、食品ロス、地場産食材、食育など家庭に訴えたいテーマが多いこと、誌面の充実が課題です。</p>
〈参考事項〉	
他機関・団体等 との連携の有無	あり ・ なし(単独) ありの場合の連携先：
●連携した背景、きっかけ 特集内容について、地産地消で地場産野菜を給食に取り入れています。生産量も少なくあまり知られていない地元農家のようすを広報して、児童生徒の家庭はもちろん生産者の皆さんにも給食に興味関心を持って取り組んでいただけないかと思ったことがきっかけです。	
デジタル化推進	した ・ していない
●対応した場合の内容、特に工夫した点	
新規・継続	今年度新規の取組 ・ 昨年度以前から継続(いつから： から)
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など 平成 3 年度ごろから現在の A3 二つ折り 4 ページで年 3 回学期発行となりました。当時はバイキング給食など献立の紹介をしていたようです。	

(様式)

2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）
食育推進に関する取組事例

作 成 者：健康推進課 小久保
作成者連絡先：健康推進課 0561-63-3300

プラン 2025 の 連番・ 取組の内容	8 「早寝早起き朝ごはん」運動の実践促進 48 親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>
取組主体 団体名	長久手市、食と健康を考える会
取組の名称	朝食講座
取組内容	<p>●実施時期：令和4年7月28日</p> <p>●対象者：長久手市内在住の小学生親子（定員6組）</p> <p>●目的・内容（250文字程度を目安にしてください） 生活習慣の形成の基盤の場となる家庭を中心として、子どもの頃からの正しい食習慣の定着を促進すること及び小学生の朝食欠食率を低下させることを目的として実施しました。 ・管理栄養士による朝食の大切さの講義や、食べ物についてのクイズを行いました。 ・長久手市の特産である米粉を使った開発レシピの紹介と、朝食レシピのデモンストレーションを行いました。（参加者の調理実習および試食は中止）</p> <p>●活動の成果、今後の課題（150文字程度を目安にしてください） 感染症対策として調理実習や試食ができていないため、クイズ等で工夫をしました。感染症対策との両立が課題です。</p>
〈参考事項〉	
他機関・団体等 との連携の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし(単独) ありの場合の連携先：食と健康を考える会
●連携した背景、きっかけ 市民の主体的な健康づくり促進を目的として市民団体である食と健康を考える会と連携しています。	
デジタル化推進	した ・ <input type="checkbox"/> していない
●対応した場合の内容、特に工夫した点	
新規・継続	今年度新規の取組 ・ <input type="checkbox"/> 昨年度以前から継続（いつから：平成30年度から）
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など H30年度から朝食講座として調理実習形式で市主体で実施しています。R2年度、R3年度はコロナのため講座を中止し、朝食レシピをホームページへ公開のみでした。R4年度から市民の主体的な健康づくり促進を目的として市民団体である食と健康を考える会へ事業を委託し、朝食についての講義+調理のデモンストレーション（参加者の実習と試食は中止）を実施しました。	

(様式)

2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）
食育推進に関する取組事例

作 成 者：健康推進課 小久保
作成者連絡先：健康推進課 0561-63-3300

プラン 2025 の 連番・ 取組の内容	16 母親教室等での健康教育や情報提供、授乳期以降の食の重要性の啓 発 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>
取 組 主 体 団 体 名	長久手市、食と健康を考える会
取 組 の 名 称	離乳食教室
取 組 内 容	● 実施時期 ：年間 12 回（月 1 回） ● 対象者 ：長久手市内在住の第 1 子の乳児をもつ保護者 ● 目的・内容 （250 文字程度を目安にしてください） 離乳食に関する正しい知識の情報提供及び楽しく子育てができるように仲間 作りを促すことを目的として実施しました。 ・離乳食の講義と離乳食の展示
	● 活動の成果、今後の課題 （150 文字程度を目安にしてください） 感染症対策として試食ができていないことが課題です。
〈参考事項〉	
他機関・団体等 との連携の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし(単独) ありの場合の連携先：食と健康を考える会
● 連携した背景、きっかけ 市民の主体的な健康づくり促進を目的として市民団体である食と健康を考える会と連携してい ます。	
デジタル化推進	した ・ <input type="checkbox"/> していない
● 対応した場合の内容、特に工夫した点	
新規・継続	今年度新規の取組 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 昨年度以前から継続（いつから：平成 8 年度から）
● 新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など H8 年度から離乳食教室を市主体で実施しています。平成 27 年度から離乳食教室の運営を食と健 康を考える会へ委託しています。	

(様式)

2022年度(2022年4月～2023年3月)
食育推進に関する取組事例

作成者：たつせがある課 若林
作成者連絡先：0561-56-0602

プラン2025の 連番・ 取組の内容	ボランティア活動の支援 <small>※複数該当する場合は、取組内容に最も近いものを最上段に記入してください。</small>	
取組主体 団体名	長久手市、長久手市社会福祉協議会	
取組の名称	地域の活動拠点の提供	
取組内容	●実施時期： 通年 ●対象者： 市民 ●目的・内容 (250文字程度を目安にしてください) 地域の活動拠点となる地域共生ステーションを西小校区、市が洞小校区、北小校区、南小校区の4か所に設置しています。	
	●活動の成果、今後の課題 (150文字程度を目安にしてください) 地域共生ステーション活用例 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、子ども食堂を実施(社会福祉協議会と学生団体が協力)。 ・フードバンクの食材収集活動(社会福祉協議会とまちづくり協議会が協力)。 ・フードバンク実施(社会福祉協議会とまちづくり協議会が協力)。	
〈参考事項〉		
他機関・団体等 との連携の有無	あり ・ なし(単独)	ありの場合の連携先：
●連携した背景、きっかけ		
デジタル化推進	した ・ していない	
●対応した場合の内容、特に工夫した点		
新規・継続	今年度新規の取組 ・ 昨年度以前から継続(いつから：平成27年から)	
●新規取組実施の経緯、継続取組の変遷など		